

# 文化交流

香南市×八重瀬町



やえせまつり  
写真提供:八重瀬町



## 若一の獅子、海を渡る

香南市と姉妹都市の沖縄県八重瀬町では、4年に一度、まちをあげての大イベント「やえせまつり」を開催しています。今年は、10月19日(土)〜20日(日)の2日間にわたり開催されました。エイサーを始めとする地域の伝統芸能などとともに、香南市の伝統文化を披露するため、香我美町の「若一王子宮獅子舞保存会」が八重瀬町を訪問。毎年若一王子宮で奉納されている獅子舞を披露し、観客を魅了しました。

## Interview

■訪問した感想は？  
八重瀬町の皆さんはとてもフレンドリーでした。やえせまつりは大きなイベントで、町全体で行っている感じが伝わってきました。また、土佐之塔にも参拝に行きました。遠く離れた高知県のために申してくれたりお世話していたいだたり、とてもありがたいと思いました。

■今後の交流にご意見を  
今後お互いの交流が続くといなと思います。今度はこちらと同じように、観客の皆さんの間で演舞したり、沖縄の獅子と共演してみたいと思います。八重瀬の獅子舞がこちらに来てくれるのも、お待ちしております！



▲18,000人を超える高知県戦没者の慰霊碑「土佐之塔」も参拝

## 交流を通じて文化が伝わる

八重瀬町との職員交流で香南市へ派遣されていた屋嘉比健作さんが、11月末をもって半年間の派遣期間を終え、八重瀬町へ戻られました。屋嘉比さんは、地元では「野村流古典音楽保存会」の師範などを務められるほどの琉球古典音楽に精通された文化人です。香南市滞在中には、数多くの地域での催しに積極的に参加。住民の皆さんと触れ合うとともに、沖縄の唄などを通して交流され、いたるところでファンが付くほどになりました。香南市の皆さんへのメッセージをお預かりしていますので、交流の様子と共にご紹介します。

## Message from Yakabi

6月、夏真っ盛りの沖縄から、香南市に来たときに感じた涼しさに、約1,000kmの距離を実感しました。これから色々な事に出会えるんだという期待でワクワクしたのを覚えています。香南市の山々の緑、大きな川、田んぼや、水路にとめどなく流れる水、どれもが新鮮で毎日さすががしくさせてくれる風景は、私のお気に入りの一つです。「文化を通じた交流」を今回の目的の一つとしていたので、「絵金歌舞伎に出てみないか」とお声がけいただいたときは、嬉しい反面、よそ者が入っていいのだろうかという悩みながら稽古に参加しました。私の演技はいいのですが、劇中で三線を弾く場面を追加していただいたことが、その後の「文化の交流」を加速させるきっかけになりました。それから、人権のイベントや、保育所、いきいきクラブ事業で各公民館を回ったりと、約30回、地域にお邪魔して三線や、沖縄のことをお話させていただきました。皆さんが何曲も沖縄の唄をご存じで、私が感動させられました。半年間、6ヶ月間、183日間、4,392時間…、長いのか短いか分かりませんが、私の香南市での生活は、かけがえのない思い出となり、家族のように接してくださった香南市の皆さまへの感謝の気持ちは、言葉では言い尽くせないほどです。本日は帰りたい、まだここにいたいという思いと、私の経験した香南市での素晴らしい半年間を、沖縄の方々へ伝えていきます。そしていつの日か、高知ー沖縄間の直行便が再開されることを願ってやみません。半年間本当にありがとうございました。またすぐ遊びにきます。



八重瀬町 屋嘉比健作



公演後、観客の皆さんが握手してくれました。嬉しかったです！



山北みかんマラソンへ家族で参加！結果は、聞かなくてください！



絵金歌舞伎初舞台。台本を書き換えてまで楽器を渡され！



市役所に吉川みどり保育所の子もたちがお礼の手紙を届けてくれました。感激！(目がウルウルしてましたよ by撮影者)



こちらで琉球古典音楽を観ていただく機会を持つことは、満員御礼感謝無量でした